

令和2年5月15日

保護者の皆様

社会福祉法人国立保育会
国立ひまわり保育園
園長 奥野かよ

保護者懇談会資料

園長より

<運営方針について>

理念 かけがえのない命をはぐくむ場

全職員が、この理念に基づいて子どもたちの保育にあたります。子どもたちが「自分の命をかけがえのないもの」と自覚し、「友だちをはじめ、みんなの命もかけがえのないもの」そう考えられるように保護者の皆様と一緒に育ててまいります。

- 保育目標**
1. 心身ともに健康な子ども（健康）
 2. 誰とでも仲良くできる子ども（人間関係 人権）
 3. 自分で考え行動できる子ども（自主性）

保育方針

「21世紀型保育（子どもの自主性を引き出す保育）」の実践をし、子どもが自己選択、自己決定できる環境を整えます。人的環境では「子どもと相談し対話的保育を行う」ことを、物的環境では「遊び込める空間を作る」ことを考慮し、職員のチームワークの中で「指示語・命令語・禁止語・否定語」を使わない保育を目指します。

国立ひまわり保育園では、日々の保育の中で日常的に「子どもに相談する保育」を展開しています。幼児組の朝の会では、各クラス担任保育士が、「今日のお天気がいいね。何してあそぶ？」と子どもたちに相談することから一日が始まります。子どもたちからは、「園庭で遊びたい。」「お部屋でブロックをしてあそびたい。」など子どもたちのやりたい気持ちを大切に、子どもが遊びを選び、遊びを決めていきます。それぞれの場所に分かれて遊びが始まり、じっくりと遊びこめる環境の中で、遊びが展開されていくことを日々、繰り返すことで、自然と年齢ごとに発達に合わせて自分で考える力が育まれています。

また、乳児組では生活面の中でも子どもに相談する言葉かけをしています。例えば、鼻水の出ている子がいれば、「鼻水を拭いてもいいですか。」と聞いて、子どもの反応を見てから対応をしています。靴がなかなか履けない子どもがいれば、「先生が手伝ってもいいですか。」嫌だと言え、手を出さずに「待つ」ことを大切に見守っています。

そういった生活を送る中で、大人主体でなく子ども主体となり、自然と「子どもの自主性を育む保育」が展開されていきます。常に職員は、目の前の子どもの願いは何かを問いながら、保育を進めています。子どもへの声かけは、「〇〇してはだめだよ」と否定語

ではなく、危険な行為が始まりそうなときには職員から「大丈夫？」と声をかけられることで、子ども自身が自らはっとして気が付きます。子ども自身が気づけるように、また穏やかに職員が子どもと対話する中で、子ども自身が肯定的な言葉を心地よく感じ、子ども同士も肯定的な言葉を自然と使うようになっていきます。

園庭では、0歳児から年長児、一時保育の子どもたちも含め、全園児で一緒に遊ぶ姿が日常的です。自然と幼児の子どもたちは、乳児の子どもに声をかけ、靴を履かせてあげたり、手をつないで一緒に遊んだり、乳児の子どもの目線に合わせ、小さくしゃがみながら優しく会話している姿が多く見受けられます。乳児組の子どもたちは、幼児組の子どもたちに優しくしてもらい、心地よさそうにしています。乳児組の子どもたちが、幼児組になった時には、自分が優しくされた経験を、また、乳児組の子どもたちに同じように接するようになっていきます。経験したこと、体験したことは全て実体験になって自分自身の中に刻まれていきます。

子どもたちが社会人になるのはおよそ20年後です。一般的にはAI(人工知能)時代になるといわれています。機械的にできることはロボットやAIを組み込んだ機械が行うようになるでしょう。AI時代を幸せに生きるためには、「体で覚えていくこと」「アイデアを出し合うこと」「豊かな人間関係を作ること」機械ができないこの3つのことが重要になっていきます。

この3つの力を引き出すには、未就学児のときから自分で考える経験をすること、非認知能力を育むことが大切です。日常の中で指示や命令ばかりで保育が進んでいけば、大人に言われたことはできても、自ら考えて行動する経験がないので、自分で考える力が育まれず、常に大人の指示を待つ子ども、もしくは大人になっていきます。

遊びの中で今日やった遊びを明日も続けてやりたい、今日はここまで出来たから明日はこの続きをしよう、または、今日は上手くできなかつたけれど明日またやってみよう、子どもたちは、いろいろなことを考えながら遊びを展開しています。

一人でじっくり遊んだり、友達と一緒に繰り返し同じことを取り組んで共感したり、そこから柔軟な発想や失敗しても粘り強く取り組むことなど遊びの中から経験をしていきます。

遊びには、たくさんの学びがあり、最後までやり抜こうとする忍耐力や気持ちをコントロールする感情のコントロール力、人と上手にコミュニケーションする社会性などの非認知能力は、このような遊びの中から育まれていきます。

子どもの「やってみたい気持ち」を大切に、非認知能力を育みながら、園名の“ひまわり”のように、あたたかい陽射しのもとで子どもたち一人一人が“たくさんの愛情を浴びながら、元気に明るく、笑顔あふれる保育園を運営してまいります。

この度の新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、国立市から登園自粛要請が5月末まで継続になり、保護者の皆様には、引き続き、登園自粛や時短保育などにご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

以上

○保健より

1. お子様の健康状態をお知らせください

登園の際には、前夜と当日のお子様の体調や、食事の様子などで気になる様子があった場合、担任、もしくは保健までお声かけください。また、ご家庭や登園降園途中でケガをした場合、病気が診断された場合なども必ず、お知らせください。

2. 寝かしつけはあおむけ寝をおすすめします

当園では、お子様の突然死や窒息死を予防するために、あおむけ寝や睡眠チェックを行っています。0歳児クラスではベビーセンサー（乳幼児体動モニター）を導入し、SIDS（乳幼児突然死症候群）予防に努めています。厚生労働省では、「ご家庭でも寝かしつけは仰向け寝」を推奨しています。ご家庭でも、お子様の睡眠状況を確認してみてください。

3. 日本スポーツ振興センターについて

当園は全園児を対象に日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約をしています。保育中、登園・降園中の負傷が対象となります。園でケガをした場合は園で手続きを行います。受診時の医療点数と調剤薬局の処方点数が、合わせて500点以上の場合に限り、スポーツ振興保険の対象となります。500点未満の場合は、園で負担し受診させていただきます。医療機関へ保険証の提示が必要のため、保護者が病院へ行けない場合は、保険証を園にお持ちください。その日のうちに医療機関に確認し、降園時までにお返しします。

（安全上や、夜間、使用する可能性があることも考慮し、園では日をまたいで保管はしません。）乳児医療証は使用しません。ご了承ください。

4. 2歳未満の身長測定の方法について

2歳未満、かつ90cm以下の身長のお子様は、寝た姿勢（仰臥位）で身長を測ります。2歳を超えると立位で測りますので、多少の誤差が出ますことをご了解ください。

5. 擦り傷の対応について

傷の程度によりますが、手当として傷を乾かさないうで皮膚の再生を促す方法としてワセリンを使用します。自宅に帰りましたら、そのままにせず傷の確認をお願いします。

6. 尿検査について

3・4・5才クラスでは7月1日（水）に尿検査を予定しております。6月下旬頃に再度日程・詳細についてご連絡をいたします。（オムツ等で尿の採取が難しい園児には、採尿バッグで採取後、採尿容器に移し替えていただく方法もございます。）尚、今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況により日程の変更・中止の可能性もございます。何卒ご理解ご協力の程よろしく願いいたします。

以上

○調理室より

1、献立について

- ・食事献立は法人統一のものを使用しております。『安全で、おいしく、栄養価に富んだ』食事の提供に努めております。
- ・多くの食品を組み合わせ、子どもたちの食体験の幅が広がるよう、旬の食材を積極的に取り入れ、季節感のある献立を考えています。
- ・生活習慣病予防のため薄味を心がけています。また、素材の味を生かすためにも、塩分、糖分を控えめにしています。
- ・咀嚼を促すよう調理法を工夫し、成長に合わせた形態で食事を提供しています。
- ・保育園では子どもたちの好き嫌い克服に繋がるよう、サイクルメニューを導入しています。最初は苦手で食べられなかったものも、2回目では食べられるようになったという達成感を感じ、子どもたちの自信と意欲に繋げ、喜びを感じてほしいと考えています。また、ご家庭で作る頻度の少ない料理や、食べ慣れない食品を子どもたちが体験する良い機会になると考えています。

2、食事の時間には

- ・食前の手洗いや食後の歯みがきなど、清潔にすることの大切さを伝えます。
- ・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつや、正しい姿勢、お箸やスプーン・フォークの持ち方など食事マナーを伝えます。
- ・みんなで楽しく食べ、食事への喜びを感じられる環境作りをしています。

3、食育活動

- ・保育園では食育として食材に触れる機会を増やし、子どもたちに食べることの大切さ・楽しさを伝えていきます。
- ・行事食や誕生会食、調理保育など子どもたちが興味を持てるような計画も予定しています。食育活動の際に、幼児組はエプロン・三角巾をご用意していただくこともあると思います。活動の際にお知らせいたします。

4、ご家庭と保育園の連携が大切です

- ・保育園では1日の生活リズムを大切にしています。保育園がお休みの日でも規則正しい食生活を心がけましょう。
- ・食事に関して心配なこと、調理法などについてはお気軽に調理室まで声をおかけください。
- ・玄関に献立見本を展示していますので参考にご覧ください。
- ・保護者の方には、保育参観などの機会に保育園の食事の味を知っていただければと思います。是非ご参加ください。

5、朝ごはんを食べて登園しましょう

- ・朝ごはんは一日の生活のスタートです。忙しい朝に料理をするのはなかなか大変ですが、脳を動かすエネルギー源であるブドウ糖が摂れるごはん食がおすすです。朝ごはんを食べることで体温が上がり、眠っていた脳や体にスイッチが入ります。お友達とたくさん活動できるように、朝ごはんをしっかりと食べましょう。

以上